

電車で静かに、文化祭の帰り

一日の疲れがたまって眠たそうに

SD: 静かに電車が揺れる音

【位置: 右 距離: 近】(二人が並んで座っている)

楽しかったですね、文化祭。

(自嘲するようなトーン)

えっちするまでは、嫉妬でどうにかなりそうでしたけど。

……でも、その後はたくさん楽しめました。

お化け屋敷で本気で怖がったり、悔しそうに射的をしてたり……。

先輩とだったら、文化祭も悪くないですね。

ふふっ。

※ ~~~~~ から寝落ちモノローグにつなげるためにゆっくりしたトーンで

ふう……。

こうして一緒に楽しめるイベントも、残り少ないんでしょうね。

だってほら先輩、来年受験ですよね……？

だから、次は文化祭とか参加してる余裕なんか無いのかなあなんて。

なんか、寂しくなってますね。

一緒にいられるうちにたくさん楽しまないと。

今までは綺麗なだけで、中身なんてないと思ってたものも、ひとつずつ楽しみになってきました。

んふ、先輩のおかげですね。

(ひといきのむ)

……。

先輩……？

眠いですか……？

さっきから先輩の頭、私の肩にあたってますけど……。

んふ、いいですよ。

そのまま寝てもらっても。

……はい。

私も疲れてしまったので、このまま一緒に寝てしましましょう。
最寄りの駅まで、まだ時間もありますしね。

※ ハハハまで

(5秒ほど静かな呼吸音のみ)

ふう……。

………。

※ このころからは主人公の顔を横目にしながら、独り言のように静かで切ないトーンで

んふ、寝てしまいましたか。

これ、映画の時みたいです。

あの時は私が先輩の肩で寝ていましたけど……。

今はその顔がこんなに近く……。

ねえ先輩、好きですよ……？

多分ずっと、えっちしてからじゃなくて

文芸部に居た時からずっと……。

あの頃、いやな噂を耳にしたことがあるんですね。

「文芸部に居るのは他に行き場のない可哀想な子たち」っていう。

実際私は、好きなことも部活に注げる情熱もなかったから……。

ああそうか自分は可哀想なんだなって……。

それからは周りのことを気にしてばっかになってしまっただけ。

そうやって言われることもないから。

当時は、自分を守るためだとか思っていましたたけど、今は分かります。

多分、あんなに必死だったのは、先輩のことが好きだったから……。

可哀想なんじゃなくて、胸をはって好きなことを好きだと言える人がいるんだって。だからその反骨心からだったんだろうなと思います。

（懐かしみながら自嘲するような明るさで）

あの時は、そんなに冷静に見られませんでしたけどね。

※

※ 〳〳〳から未来に向け明るく締める

なんか、先輩の寝顔を見てたら昔のことを思い出してしまいました……。こうしていただけること、とても幸せですよ。

（過去から未来へと気持ちを切り替えるように）

ふう……。

そういえば、来月はクリスマスでしたか。それが終われば年越しに初詣……。

んふ、楽しみです。

